

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和元年度第1回入間市児童センター運営委員会
開 催 日 時	令和元年7月25日(木) 午後1時30分開会 ・ 3時10分開会
開 催 場 所	入間市児童センター 集会室
議 長 氏 名	町田 和美 委員長
出席委員(者)氏名	町田和美委員長 吉野正昭副委員長 竹野谷久江委員 米山みどり委員 奥泉徹委員 斎藤治美委員 矢口洋子委員
欠席委員(者)氏名	村川闕子委員
説明者の職氏名	青少年課 主幹 椿 潤 指定管理者 (株)コマーム
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	I 委員委嘱式 1 委嘱状の交付 2 市長挨拶 3 自己紹介  II 運営委員会 1 開会 2 委員長、副委員長の選出について 3 正副委員長挨拶 4 議事 (1) 入間市児童センター運営委員会委員について (2) 入間市児童センターの概要について (3) 平成30年度入間市児童センター事業報告について (4) 令和元年度新規事業の取組みについて 5 その他 6 閉会
非 公 開 理 由	—
傍 聴 者 数	なし

配 布 資 料	1 令和元年度入間市児童センター運営委員会委嘱式次第 2 令和元年度第1回入間市児童センター運営委員会次第 3 入間市児童センター運営委員会委員名簿 4 入間市児童センター運営委員会委員について（資料1） 5 令和元年度入間市児童センター要覧
事務局職員職氏名	こども支援部部長                   原嶋 裕子 こども支援部次長                   佐藤 政史 青少年課課長                        須田 直樹 青少年課主幹                         椿 潤 青少年課主任                         宮元 智子 (株)コマーム専務取締役           小松 秀人 (株)コマーム児童育成事業部長    笹野 晋助 児童センター所長                   渡邊 奏典 児童センター所長補佐             上田 真奈美 児童センター職員                   吉野 勝
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

入間市児童センター運営委員会委員委嘱式

- 1 市長より、入間市児童センター運営委員会委員委嘱状を各委員へ交付した。  
(5月1日付、R元. 5. 1～R 3. 4. 3 0)

第1回入間市児童センター運営委員会

- 1 正副委員長が決定した。

委 員 長 町田 和美

副委員長 吉野 正昭

- 2 議事として事務局より以下4点について説明した。

- (1) 入間市児童センター運営委員会委員について
- (2) 入間市児童センターの概要について
- (3) 平成30年度入間市児童センター事業報告について
- (4) 令和元年度新規事業の取組みについて

## 会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
須田課長	1 開会
市 長	2 委員長、副委員長の選出
正副委員長	3 正副委員長挨拶 (挨拶)
	4 議事
町田委員長	本日は7名の委員に出席していただいているので、会議は成立する。また、会議の公開について、事務局から説明をお願いします。
椿 主幹	(会議の公開について説明)
町田委員長	特に皆さんからなければ公開するということで進める。 次に、傍聴される方はあるのか。
椿 主幹	本日は傍聴の希望はない。
町田委員長	会議録の署名について事務局から説明をお願いします。
椿 主幹	(会議録の署名について説明)
町田委員長	署名は名簿順に行い、今回は竹野谷委員にお願いしたい。 それでは、議事に入る。
町田委員長	まず、(1) 入間市児童センター運営委員会委員について、事務局から説明願いたい。
椿 主幹	(1) 入間市児童センター運営委員会委員について説明
町田委員長	質問等あればお願いします。 無いようであれば、私から。資料1では「児童センター設置及び管理条例」の運営委員会が第13条だが、要覧の管理条例では第12条になっているのはなぜか。
事 務 局	要覧の管理条例は、平成29年に施行された当時のもので、古いものになる。差替えがされていないものが載っている。要覧の管理条例第4条(職員)の部分が、資料1の管理条例第4条(指定管理者による管理)、

発 言 者	発 言 内 容
町田委員長	<p>第5条（指定管理者が行う業務の範囲）の2つに変わったため、条例の数字が1つずつずれたものになっている。申し訳ありません。</p> <p>他はいかがか。</p> <p>なければ続いて、（2）入間市児童センターの概要について、説明を願う。</p>
渡邊所長 町田委員長	<p>（2）入間市児童センターの概要について説明</p> <p>質問等あればお願いします。</p> <p>なければ続いて、（3）平成30年度入間市児童センター事業報告について、説明を願う。</p>
渡邊所長 町田委員長	<p>（3）平成30年度入間市児童センター事業報告について説明</p> <p>質問等あればお願いします。</p> <p>なければ続いて、（4）令和元年度新規事業の取組みについて、説明を願う。</p>
上田所長補佐 町田委員長	<p>（4）令和元年度新規事業の取組みについて説明</p> <p>質問等あればお願いします。</p> <p>特に無いようだが、全体を通して、何か質問等はないか。</p>
竹野谷委員 渡邊所長	<p>こういった事業は、小中学校へお知らせはいくのか。</p> <p>市内の小中学校へは、全ての子どもたちに1枚ずつお知らせが配られる。中学校に関しては、学校宛て掲示用として送っている。全体的には、8,700枚の印刷を行い配布している。</p>
吉野副委員長	<p>平成30年度行事の補足です。ミニSLというのがあったが、昨年壊れた。令和元年度5月、最終確認をしたが修理の目途がついておらず、今年度の行事には入っていないのでお知らせする。</p>
竹野谷委員	<p>何年くらい使っているのか。</p>
吉野副委員長	<p>平成3年に入ったもので、20年くらい使っているものになる。</p>
町田委員長	<p>他はいかがか。</p>
米山委員	<p>平成30年度の事業にランドセル来館が始まったと聞いたが、入間市で</p>

発 言 者	発 言 内 容
渡邊所長	<p>行われている学童保育と同じような内容と考えて良いのか。</p> <p>待機児童を対象に青少年課からご案内をし、希望者の方には説明をして受入れをしているというものになる。昨年は6名の方に参加いただいた。今年は3名となっている。</p> <p>学校から直接、児童センターに来て、午後6時までの間に保護者ならびにそれに準ずる方に迎えに来ていただくというものになる。</p>
町田委員長	<p>他はいかがか。</p>
矢口委員	<p>ランドセル来館は、小学生だけが対象か。</p>
渡邊所長	<p>そうです。</p>
矢口委員	<p>中学生が、学校から直接来るということはできるのか。</p>
渡邊所長	<p>それはおそらく無理だと思われる。登下校というのは、学校から自宅というのが原則であり、途中で寄り道というのは難しいと思われる。</p>
矢口委員	<p>私は今、高倉1丁目に住んでいるが、中学生が学校の帰りに学生服のまま、家に帰らずマンションの前や川の土手でたむろし、遅くまで帰らずにいる。今、中学生も居場所がないと言われている。児童センターなら近いし、大人の目も届くし、夕方に談話室を設けるといったことはできないのか。もちろん保護者承認のもとであるが。</p>
渡邊所長	<p>まず、ランドセル来館について説明すると、学校の許可、ならびに保険など、それぞれのこと全てが整った上でやっていること。誰でもここに来ていいというものではない。いろいろな条件があり、それを受けていただく約束をしてから参加してもらうものとなる。学校帰りにランドセルを持ったまま自由に寄っていいというような事業ではない。</p> <p>中学生に関しても、この場所で中学生というと、対象は東町中学校と豊岡中学校ですが、きちんと指導していただいているせいか、ここに寄るようなことはない。みなさん、一生懸命部活動されて、自宅へ帰られているというところである。</p>
矢口委員	<p>わかりました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
奥泉委員	<p>私が知っている従前の児童センターのイメージとガラッと変わって、多種多様な自主事業、様々な魅力ある取組みがされていると改めて感じた。子どもたちへの教育もさることながら、子育て支援事業も特に親への支援というところで、小学校へ子どもを通わせている親御さんもいろいろな悩みを抱えている中で、教育関係でいうとあらたまった形の相談窓口が多いが、本センターのようにかしこまった場所でなく、何気ない日頃の活動の中でお母さん方が、お互いの悩みを共有したり、子育てに関する悩みを解消できる機会が設定されているというのは、改めてこの児童センターの意義を再認識させていただいた次第である。より一層、入間市の小学生、中学生に学校とはまた違った経験ができるような魅力ある活動を展開されることを期待する。</p>
町田委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先ほど話のあったランドセル来館については、非常に素晴らしい取り組みだと思う。特に小学生の場合、学童保育に行くわけだが、嫌で行きたくない子もいる、また行きたくても空きがなくて行けない子もいる。ランドセル来館は、一步踏み込んで学童保育の子と帰宅の子と学校、その間を繋ぐ、子どもたちのことを考えた新規事業だと思う。さきほど所長の話の中にあっただが、登下校中の事故については、保障されるということか。</p>
渡邊所長	<p>登下校中については、学校の方の保険で適用できるように、青少年課が学校と調整済である。児童センターにいるときには、ここの保険対応ということになる。</p>
原嶋部長	<p>ランドセル来館というのは、北海道の千歳市において、待機児童対策として、児童館で補っているという話を聞いた。入間市も児童館が指定管理者制度になり、常に保育士がいて、見守りがされるのではないかとということで、話をしたところ、受入れていただいた。実際にこの地区は待機児童がいたため、ランドセル来館事業を始めたものである。</p> <p>委員長のおっしゃる保険については、学校長からここへ来ることの許可</p>

発 言 者	発 言 内 容
町田委員長	<p>を得た児童について、学校の保険を活用させていただいている。</p> <p>そして先ほど矢口委員がおっしゃっていた中高生の居場所づくりというのは、課題になっているところで、児童センターでも研究をしているところである。また市全体でどうするかという計画を今年度つくる予定である。特に中学生、高校生の居場所だが、公民館で話をしたいという子どもたちもいるので、そういったことが全体で連携してできればなど思っているところである。</p> <p>先ほど矢口委員から出た中学生の居場所。たまたま東町中学校、豊岡中学校にそういう生徒はいないようだが、実際にはいることは事実である。先ほど部長の話にもあったとおり、ここでなくても、公民館とか青少年活動センターなどもあると思うので、検討していくことをお願いできたらと思う。</p>
原嶋部長	<p>子ども若者支援事業計画というものをこれから作っていくが、この計画は18歳からおおよそ30歳までという範囲をもって、その人たちの対応をどうするか考え、特にひきこもりの人などもその中で対応させていただきたいと思う。</p>
町田委員長	<p>他はいかがか。</p>
小松専務	<p>指定管理者から話をさせていただくと、今は1年目で、中高生に特化した事業というのはまだまだこれからとなる。中高生は部活等があり、なかなか午後6時までに児童センターへ来ることは難しい。午後7時まで8時までと時間を延長して、中高生タイムを設けて集ってもらい、日々雑談をしたりする中で悩みごとを相談したり、宿題やテスト勉強をしたりというようなことができると思う。児童館は0歳から18歳まで、中学生高校生までの全ての子ども達が来ることができる施設なので、今後、中高生に特化したプログラムもやっていきたいと思う。</p>
上田所長補佐	<p>現場から話をさせてもらおうと、中高生イベントを今やろうとしても、私たちスタッフが、中高生のことをよくわかっていない。なので、私の持つ</p>



発 言 者	発 言 内 容
	<p>イメージとしては、今遊びに来ている小学生たちと関わりを持って、その子たちが中学生になったときに「上田さんがいるから、部活が早く終わった日は、ちょっと児童センターに行ってみよう」と思えるような環境を作って、今いる小学生たちが中学生になったときに、そういった居場所があれば来やすいのではないかと考える。今の中学生に「児童センターへおいで」と言ったところで来ないと思うので、現在は未来の中学生に向けての関係づくりをしているところである。</p>
町田委員長	<p>他はいかがか。</p>
	<p>なければ、これで議長の任を解かせていただく。</p>
須田課長	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>次回会議は、2月中を予定している。日程については今後委員長、副委員長、事務局で調整させていただく。委員の皆さまには追ってご連絡します。</p>
事務局	<p>次に5その他、事務局から何かあるか。</p>
	<p>(特になし)</p>
吉野副委員長	<p>令和元年度第1回入間市児童センター運営委員会を終了する。</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>年 月 日</p> <p>議 長 の 署 名 _____</p> <p>議長が指名した者の署名 _____</p>	